

令和元年度米子市美術館協議会議事録（概要）

開会（14：00）

下高文化振興課長 挨拶

議題1 会長及び職務代理の選出

会長に高増委員、職務代理に鐘築委員を選出

議題2 令和元年度米子市美術館事業報告について

（中村館長が資料に沿って事業報告を行う。以下、補足。）

・特別企画展（神々の微笑-小灘一紀 絵画のあゆみ）オープニングには、150人以上の方が参加。その後に行われた記念講演会も125人と多くの方が参加された。

・特別共催展Ⅰ（北原照久コレクション 懐かしくて温かいおもちゃの世界展 同時開催：安部朱美創作人形展）は、前年同時期開催（ミュシャ展）に比べ来館者数は2,000人程度減となったが、なんでも鑑定団でもお馴染みの北原照久氏によるギャラリートークには226人、その後に行われた記念講演会にも多くの方が参加された。

・市展は出品数が前年より減少。これは出品者が減少したため作家の高齢化によるところが大きい。

・特別共催展Ⅱ（チームラボ 学ぶ！未来の遊園地）は、米子市美術館来館者数の最高記録を達成。これまでの記録は、昭和62年の市政50周年記念で開催した、第18回「日展」（米子市初開催）の、52,165人。開催にあたり開館時間延長などを実施。昨年同時期開催の大山開山1300年祭関連展示（大山山麓の至宝展）では重要文化財の刀剣「安綱」を展示したが、その来館者数4,500人弱と比較すると来館者数の多さを感じられる。

・常設展はスケジュールにより、今年度は1回の開催となった。

・AIR475 2019/共同企画展（秋山さやか展 米子をほどく 2009-2019）は、ジュニア県展と同時期開催だったこともあり、多くの親子連れに来館いただいた。

・主催事業の年度来館者数は、チームラボ効果により最高記録となる見込み。

・貸館事業（利用件数・利用料収入）の減は、スケジュールによる貸出可能な部屋数の減によるものです。以上で報告を終わります。

（高増会長）それでは、何か質問、ご意見ございましたらお願いします。

（山内委員）人数のカウントは、どのように行われていますか。

(中村館長) 主催事業については展覧会ごとにカウントしている。貸館については受付に人数表を置き、貸館終了時点で集計している。時期により、重複する展覧会（特に「秋の文化祭」）の期間などは、過去の実績などから予測数を考えて観覧者数を算出しています。

(高増会長) よろしいでしょうか。他に何か質問、ご意見、ご感想などございましたらお願いします。

(鐘築委員) 小灘展のオープニングに参加したが、凄く多くの方が参加しておられ華やかで良かった、広報活動は何か特別なことをされたのでしょうか。

(中村館長) 一般の方については、チラシや新聞ですが、小灘先生の関係の方が多く、県外から来られていました。

(鐘築委員) やはりオープニングは華やかな方がよいと思いますので質問してみました。

(青戸副館長) お手元に小灘展のチラシを置かせてもらったが、関連事業のところに記載があるとおり、普段はオープニングについては記載していないが、この度は、表示記載した。あわせて、鳥取県文化功労章を受章された大西瑞香氏も来られるので、ぜひとも多くの参加をと考えて計画した。

(鐘築委員) とても良かったと思います。今後も、一般の方も気軽にオープニングセレモニーに参加できるような企画をお願いします。

(高増会長) ありがとうございます。他に何かございましたらお願いします。

(三浦委員) チームラボ展について、開催後に分析した結果、「何をみて来ましたか？」という問いに関して、来館者からのとても良かったという声を聞いてというような「ロコミ」という答えが多かった。あと、島根県からの来館が多かった。それを考えると出雲の辺りまでは集客のエリアとなるので、山陰中央新報さんの協力を得て、紙面やフリーペーパーによる広報活用できたことも大きかった。初めて美術館に来た人の割合についても、親子連れの来館が多かったので、美術館に来るきっかけづくりとしても良かったのではないかと考えています。

(中村館長) 「ロコミ」というのは、やはり SNS でしょうか。

(三浦委員) SNS は勿論ですが、それ以外での広報として、まさに「ロコミ」です。お母

さん同士、ご近所、幼稚園、保育園などでの「ロコミ」によるものです。

(高増会長) 子供が男の子二人(中1・小4)いますが、今時のゲーム大好きな子どもで、チームラボも好きでは思い誘ってみたところ、上の子は、大人びているのか行かないと言われてしまいました。下の子は、行ってみようかなという感じで、行くのなら友達と行きたいと言うので、「ロコミ」ではないですが、友達も誘って行きました。噂で、凄く混んでいるという話だったので、遅い時間を狙って行きました。比較的空いており、作品全部を体験することができ、作品によっては、エンドレスに体験するような感じで夢中で楽しんでいました。その姿をみて、やはり「チームラボ」さんは、凄く上手に作品をつくられていると感心しました。面白いというだけでなく、タイトルに「学ぶ」と入っているだけあり、新しいメディアの学びに繋がる作品だというような気がして、内容も良く企画としても周辺の飲食店との連携割引チケット(チラシ)なども、観覧した後、飲食店に流れるような仕組み作りもよく考えておられる企画と実感しました。

(中村館長) これまで美術館に来たことのない方も沢山来られた事業企画でした。

(鐘築委員) 初めて美術館に足を運んでいただいた方に、楽しいと思える企画を、これからも提供していただきたい。情報発信についても、先ほどから話にでていた「ロコミ」というのが大きいと思います。飲食店の割引なども、チラシをしっかりと見ていない方にも、「ロコミ」によって伝わり、混雑状況なども「ロコミ」で把握できた。ただ、加茂川遊覧も割引の対象となっていたが、加茂川遊覧だけは、上手く「ロコミ」の宣伝ができていなかったように感じたので、やはり今後も情報の発信の仕方を考えて、ノウハウを持っている方の意見も取り入れながら進めてもらえればと思います。

(中村館長) 関連したことで、会期中は隣接の図書館の入館者数も爆発的に増えた。待ち時間の関係で利用される方が多く、利用マナーについての面で問題もあったと聞いている。

(高増会長) 他に何かございましたらお願いします。

(服部委員) チームラボですが、大人だけで行ったのですが楽しめました。あと、北原照久展に関しては、凄く懐かしい品が展示してあり、年配の方も楽しめたのではないかと思います。

(高増会長) ありがとうございます。他には何かございませんでしょうか? ご意見ないようでしたら、議題(3)の令和2年度事業計画について美術館から説明をお願いします。

議題3 令和2年度米子市美術館事業計画について

(青戸副館長が資料に沿って事業計画について説明を行う。以下、補足。)

・特別企画展（生誕110周年記念展 異才 辻晋堂の陶彫）について、生誕110周年記念で開催するが、生誕100周年は、鳥取県立博物館が開催したため、110周年というタイミングで開催する。

・特別共催展（フォーエバー現代美術館コレクション 草間彌生展）について、秋田にお住いのコレクターから借用し実施。京都にもあったフォーエバー現代美術館は昨年閉館。

・常設展について、今年度は2期開催とする。岩宮展（Ⅰ期）は、鳥取県立博物館と協力して実施。杵島展（Ⅱ期）は、前期・後期に分け実施。杵島隆顕彰会、鳥取県立博物館と協力して実施する。

・貸館については、現段階でほぼ埋まっている状況です。以上で、令和2年度事業計画の説明を終わります。

(高増会長) ありがとうございます。ただいまの内容について何かご意見、ご質問はございますか。

(高増会長) 新規の井上コレクション展示は、いつから始まりますか。

(青戸副館長) 調整中とのことで、まだ美術館にも確定情報は入っていません。

(鐘築委員) 草間彌生展についてですが、今年度のチームラボに続いて凄い企画かと感じていますが、これは美術館のお力なのでしょうか。

(青戸副館長) 日本海新聞さんと美術館学芸員が協議し、米子市美術館にも草間作品が1点収蔵していること、学芸員自身も興味があるということもあり、ぜひ開催したいという運びとなりました。

(鐘築委員) 私の周りでも、来年度、美術館で草間彌生展を開催すると噂になっており、資料には15,000人の予測とあるが、30,000人は来館するのではないのでしょうか。

(横畑委員) この展示を凄く期待しています。2年前に主人と二人で、愛媛県に行ったときに鑑賞したのですが、その時に、主人が、あまりにも作品が素晴らしくて作品に触ってしまい学芸員に止められたくらい凄くて。大きなかぼちゃなのか瓜なのか分かりませんが、そのような作品が米子市美術館に来れば良いなと思います。どのような作品が来るか、今から楽しみです。

(鐘築委員) この展覧会にも、島根をはじめとする県外の方に草間彌生のネームバリューで来てほしいと思っているので、30,000人は来るのでは。ぜひ、「ロコミ」等を中心とした広報活動をしてほしい。

(中村館長) 作品としてはリトグラフを中心としたものとなるのではないかとは思っているが、現段階では展示内容は決まっています。確かに、作家のネームバリューはあるので、広範囲で広報活動を行いたい。

(三浦委員) 皆さんと同じように期待しております。六本木にある森美術館が好きで、よく行くのですが、森美術館は広報が上手で、撮影 OK としている。他の美術館などでも、草間氏の作品は一部作品について撮影 OK としている。今の時代、スマホのインスタを利用して発信していくので、米子市美術館の展覧会でも一部撮影 OK の場所(作品)を設けてはよいのではないのでしょうか。全館撮影 NG という概念があるのかもしれませんが、海外などでも撮影可能などが増えてきていると思いますので。

(中村館長) 日本でも、撮影 OK とするところが増えてきており、日展などでも撮影可とする流れだが、作家さんによっては撮影を拒まれることもありますので。

(青戸副館長) 草間彌生展に関しては、撮影の可否について現段階では決まっていないが、草間彌生美術館は基本撮影 NG で、一部撮影可能なエリアもある状況でした。作品現物については、撮影不可となっています。

(鐘築委員) 昨年度のミュシャ展では、顔出しパネルが設置されていたりしたので、草間作品で多くデザインされているかぼちゃの顔出しパネルでも設置してみたら楽しいのでは。撮影 NG でも、部分的にそのようにしていただければよいのではないのでしょうか。

(中村館長) 作家がご存命なので、かなり制限制約はあるかと思います。

(鐘築委員) 草間彌生氏ご自身に来ていただければ、話題になるかとは思いますが。

(高増会長) その他、ご意見質問はありませんか。ないようでしたら、議題(4)のその他で、何かありますでしょうか。せっかくの機会ですので何か。

(中村館長) 来年度は、学校関係の美術館利用促進をお願いしたいと思っています。ぜひ、美術館に来ていただき、子どもたちに美術館の事を知っていただきたい。

(藤田委員) 小学校の作品は、児童文化センターに展示されることが多く、入選した子供や保護者の方は観覧されるが、その他の方については、ほとんど観覧されていないのが現状です。ぜひ機会づくり、美術館を利用したいと考えている。そして、教員についても、授業などで子供の作品を評価する機会があるが、教員により様々な評価となるケースが多々ある。勿論、鑑賞(評価)するポイントは沢山あるかとは思いますが、専門家(学芸員)の方に教わることも大切だと感じているので、色々なケースで美術館と連携できたらと考えておりますので、その節は、よろしくお願いいたします。

(高増会長) 今のは、小学校の対応だと思いますが、中学校についてはどうでしょうか。

(藤田委員) 中学校は教科ごとなので、美術教諭を中心とした対応になるかと思います。

(高増会長) 関連して、米子高専建築課では、3年生の課題において美術館周辺の敷地を設定し、「町の中心のパブリックスペース」文化的ゾーン的设计を基本課題として取り組んでいる。学生それぞれの考えにより進め図面にしていくような課題ですが、その課題のために学生を美術館に連れて来るのですが、いままでに一度も美術館に来たことのない学生が多いのにビックリします。建築学科のデザインを学んでいる学生ですら、その様な状況です。

(鐘築委員) 小中学校は、なかなか時間が確保できないとは聞いていますが、近隣の学校は徒歩で美術館へ来ることも可能ですが、遠い学校は時間を確保するだけでも大変なので送迎のバスなどを手配できるような予算検討をお願いしたいです。

(青戸副館長) 小灘一紀展の関連事業として、未就学児を対象とした親子で参加可能なギャラリートークや、おしゃべり鑑賞会とという認知症の方とご家族に対しての事業も予定している。このような取組みを昨年度から行っています。

(服部委員) おしゃべり鑑賞会は、参加された方の感想などは聞かれていますか。

(青戸副館長) おしゃべり鑑賞会は、対話をしながら作品を鑑賞するもので、鑑賞後には認知症の方の表情が和らいだなどの話を、一緒に参加された家族の方の話で聞いている。

(高増会長) その他には何かございますでしょうか?ないようですので、これで全ての議題が終了いたしました。美術館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会(15:50)